

議案第1号から7号の一般会計予算並びに各特別会計予算、水道事業、下水道事業の7件に対して賛成の立場で討論いたします。

令和5年度の一般会計予算規模は、約522億、各特別会計予算規模は、約319億、水道事業予算規模は、約45億、下水道事業予算規模は、約57億であり、全てを合わせた予算規模は、約945億となり、前年の予算に比べると増減額約5億7,000万の減となっています。

一般会計予算の歳入においては、市税が対前年度当初予算比で増収見込みとなり、原資となる国税の伸びにより、地方交付税が大幅増となります。また、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響を受けて、物価高騰や円安の影響により地方交付税交付金も増になる等、一般財源の総額は伸びています。

歳出においては、原油価格、物価高騰の影響は計り知れないほど影響が大きく、各公共施設の電気やガスの料金、その他経費にも影響を与えています。

また、物価高騰の影響を踏まえた保険料の据置きに伴い、国民健康保険への繰り出しなどが大幅増となるなど、必要な一般財源の確保が非常に厳しい予算編成であったと思います。

それらを踏まえながら、各項目別に申し上げます。

総務費では、船形多世代交流センター管理運営費の計上がされ、趣味や娯楽を通じた多世代の交流の場やオンデマンドの出張相談等の会場として利用され、地域に親しまれる交流センターとなることを期待する。また、支所及び出張所のキャッシュレス決算システム及びPOSシステム対応レジが計上され、市民の利便性向上が図れることを期待します。

民生費では、中学生までの医療費無料を図るための子ども医療費助成金が新規計上され、子育て世代への暮らしへの対策が強化されています。この取組によって子育て世代が増えることを期待したいと思います。

衛生費では、傷病者等の心理的及び経済的負担の軽減や医療用ウィッグなどの一部助成として医療用補正具等購入費が新規計上されており評価します。また、市独自のあかちゃんお祝い金が計上され、安心して出産、子育てができる支援があり、今後の出生率に期待をしたいと思います。

労働費では、勤労青少年ホーム耐震診断委託料が新規計上され、迅速な取組に感謝します。

農林水産業費は、農業人材育成事業補助、農産物ブランド化推進事業費が継続されています。今後の人材育成に期待をします。また、ブランド化推進によって、付加価値を高めることで、消費者に信頼され、安全で安心な農産物の取組に期待をします。

商工費では、空き店舗改修補助、家賃補助が継続され、評価いたしますが、空き店舗改修補助に関しては、改修に係る補助の増額や、空き店舗の期間を短縮す

ることにより、空き店舗の循環がよくなることが、まちの賑わいにもつながっていくものと考えますので、時代のニーズに合わせた取組をお願いいたします。

土木費では、マンション管理適正化推進事業が新規計上され、管理士の派遣によって適正なマンション管理が図れることを期待します。また、関宿北部地区土地区画整理事業や、野田市駅、愛宕駅の土地区画整理事業が計上されています。野田市駅のロータリーにおいては、令和5年8月の完成を目指すとのことですので、連続立体交差事業と一体的な都市基盤整備、そして交通の円滑化、都市機能の集積、安全で快適な都市空間の整備に引き続き御尽力いただきますようお願い申し上げます。

消防費では、特殊災害用備品ドローンの資格研修費、消防団拠点施設整備費(16分団器具置場)、防災訓練費、自主防災組織育成事業として準防災組織を補助金対象とした計上がされ、災害時の備えや防災意識の向上が図られており、評価します。しかし、消防団員の人数減少に関しては、大胆なアイデアで会員拡大に向けて取り組んでいただくことを引き続き要望といたします。

教育費では、児童生徒支援員の増員、経済的困窮世帯への拡大、中学校部活動指導員の増員が計上されています。また、私立幼稚園の幼児教育の拡充や、人材確保を図るため、幼稚園教諭として新たに雇用された者に対し、1人当たり10万円、家賃補助1か月25,000円を5年間補助するものが、新規が計上されました。保育園の人材のみならず、幼稚園の人材確保にも支援が拡充し評価します。

また、給食水準の維持向上や保護者の負担軽減を図るために野田の黒酢米購入費を全額負担計上や、県の第3子以降の給食無料化支援事業を活用し、学校給食費の無償化が図られ、子育て支援の取組がさらに強化されており評価します。

土曜授業について申しあげます。土曜授業の検討委員会におかれましては、継続ありきではなく廃止ありきでもないとのことで、あらゆる角度から検討していくとのことですが、昨今の時代にあった土曜授業の在り方、教員、子供たちのモチベーション向上が本当に図られていたのかを含めアンケート調査結果と照らし合わせながら、検討していただければと思います。

次に、総合公園整備費に野球場整備やスケートパークの夜間照明の設置が新規計上されております。利用時間も増え利用者が増えることが予想されますので、夜間利用に備えたルールづくりをよろしくをお願いいたします。

最後に、国民保険特別会計におきましては、令和5年の保険料は、物価高騰などから被保険者の負担を軽減するため、国民保険の基金から約2億、一般会計から約7億を繰入れすることで、現行の保険率を据え置くことになりました。

今後は、国保基金にも限界があります。一般会計からの繰入れにも限界がございます。今後においては、千葉県が示す、事業納付金額及び標準保険料率に応じた保険料率の見直しについて検討していただければと思います。

以上、一般会計におきまして、繰り出しも多くありながら、必要な財源の確保が非常に厳しい予算編成でしたが、令和5年度の一般会計並びに各特別会計、水道事業、下水道事業予算に関して、適正と判断いたしまして、意見を付してはいますが、賛成討論とさせていただきます。